

総理研課題 降下火砕物による木造建築物への影響に関する研究 (R8~10)

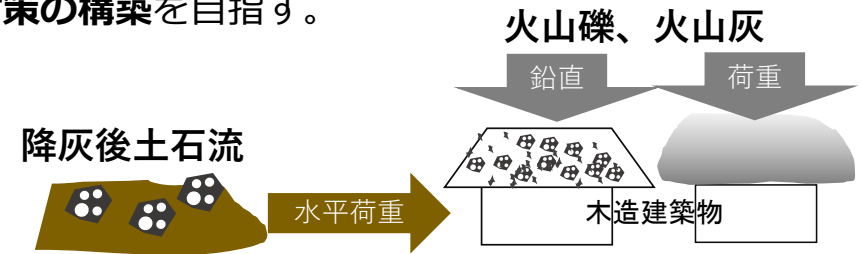
山梨県富士山科学研究所

背景

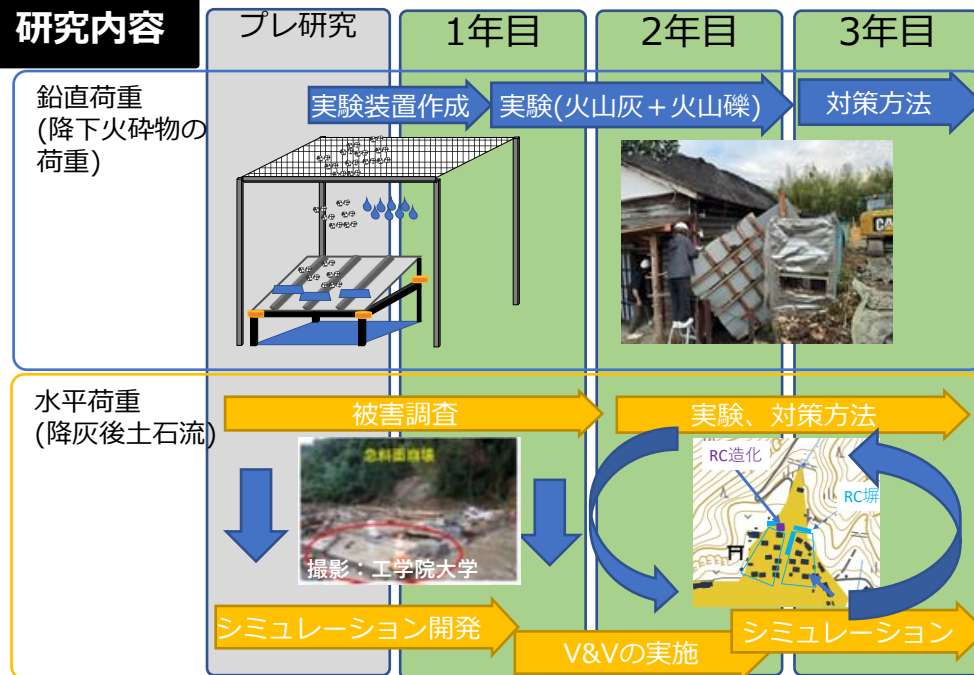
- **火山灰と火山礫(降下火砕物)**による木造建築物への影響はこれまで研究が行われていない。
- (降灰後)土石流による木造建築物への影響も**研究が始まったばかりで、まだ不明なことが多い。**
- 土砂災害による建物被害が発生しており、土砂災害対策の減災に資する**建築物の対策も求められている。**
- 実効性のある減災対策が難しく、降下火砕物や降灰後土石流による**被害想定が十分に行われていない。**

目的

富士山噴火による**降下火砕物が木造建築物に与える影響を科学的に解明し**、被害軽減のための対策手法を確立することで、避難基準の明確化と地域防災力の向上を図る。特に、鉛直・水平荷重の両面から建物の脆弱性評価と実効性ある**防災対策の構築**を目指す。



研究内容



期待される成果

- 降下火砕物からの避難対象となる**木造建築物の特定、避難対象者の最適化**（深刻な渋滞の抑制により、逃げ遅れゼロの実現）
- 研究成果の県地域防災計画等への反映
- 降下火砕物と降灰後土石流に対する木造建物の脆弱性評価、被害想定
- 耐土砂災害建築物や街づくりが可能となり、**自然災害に強いやまなしを実現**できる。
- 防災教育等を通じて、**広く県民へ周知啓発**。地域防災向上に貢献

ふるさと強靱化の実現

共同研究者：北海道立総合研究機構、工学院大学、京都大学防災研究所
協力：山梨県防災局、富士河口湖町地域防災課、東京電機大学、神奈川大学